

考えてみませんかその表現

～男女共同参画の視点からの表現の手引き～



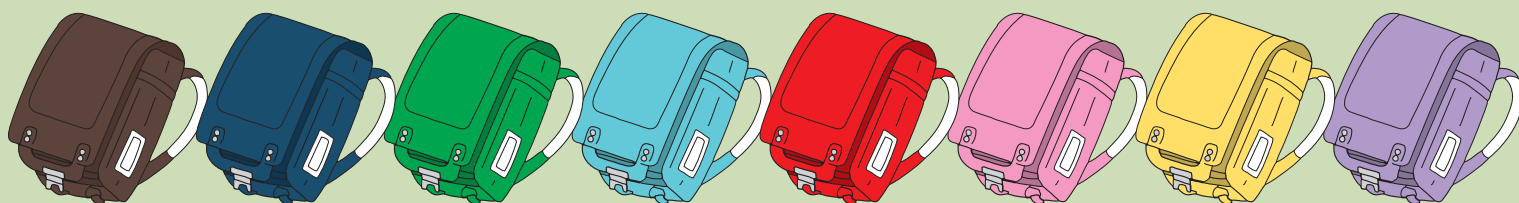
私たちが日ごろ目にする言葉やイラストの中には、「男は仕事、女は家庭」というような性別によって固定的な役割を表現したのが見受けられます。ふだん何気なく使っているこれらの表現が繰り返されることで、無意識のうちに男女の役割はこうなのだという考え方を浸透させることが性差別につながるようになります。

しかし、人は性別にかかわらず平等でなければなりません。

だれもが性別にとらわれず、個性と能力を生かして「自分らしく」生き生きと暮らすためには、男女が対等なパートナーとしてあらゆる場に参画する男女共同参画社会をつくる必要があります。

そこで、言葉やイラストなどは、いろいろな場面や姿を男女の偏りがいない表現で描くなどの配慮をすることが大切です。

これをご覧になったみなさんにとって、固定観念にとらわれない男女のさまざまな描き方を考えるきっかけとなれば幸いです。



倉敷市

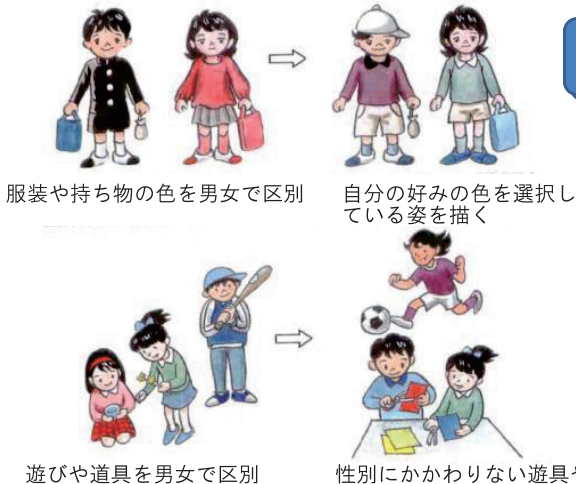
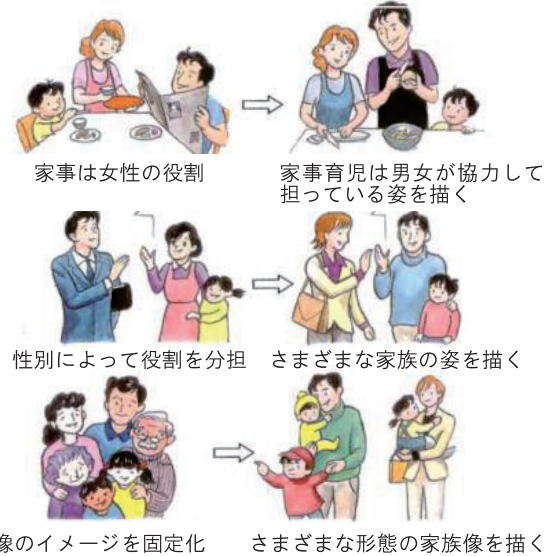
固定した性別イメージにとらわれていませんか？

わたしたちのライフスタイルは多様化しており、「男は仕事、女は家庭」というような固定観念にとらわれた生き方では一人ひとりの可能性を十分に生かすことはできません。家庭、学校、職場、地域などあらゆる場面で多様な生き方が想像できるような姿を表現していくことが大切です。

家庭

家庭の中心は父親で家庭を支えているのは父親だけといった表現をしていませんか。働く女性が当たり前の中です。家族全員が協力して家事や育児などを行うことが大切ではないでしょうか。

また、家族の形態も核家族世帯、高齢者世帯、ひとり親世帯や単身者など多様化しています。このような状況も視野に入れて、家族像を表現しましょう。



学校

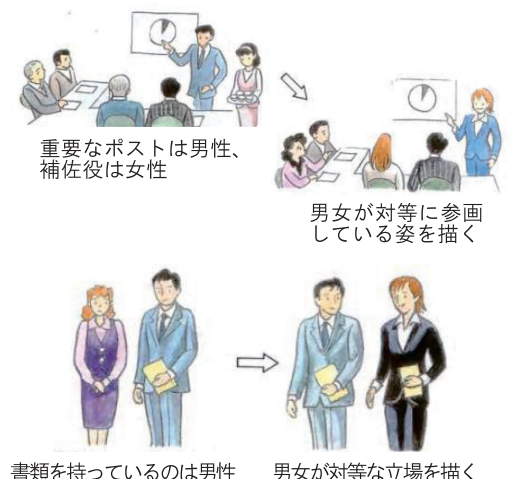
男の子は青色系、女の子は赤やピンク系など、色で性別を区別していませんか。

「男（女）らしくしなさい」とか「女（男）のくせに」といった大人たちの言動が、心身の発達期にある子どもたちに、無意識のうちに大きな影響を与えてしまいがちです。性別にとらわれない個性や能力を尊重した子どもたちを表現しましょう。

職場

女性の仕事は補助的なものといった古い表現はありませんか。女性の社会進出が進む中、管理職に就く女性やプロジェクトリーダーとして活躍する女性もたくさんいます。女性も責任のある立場で仕事をしているなど男女が対等な立場で働いている様子を表現しましょう。

また、職業を表現する際、医師や建築士は男性ばかり、看護師や保育士は女性ばかりとすることは性別により職業選択の幅を狭めてしまうような印象を与えかねません。職場では男女がともに働く姿を描き、職業についても性別にとらわれない表現を心がけましょう。

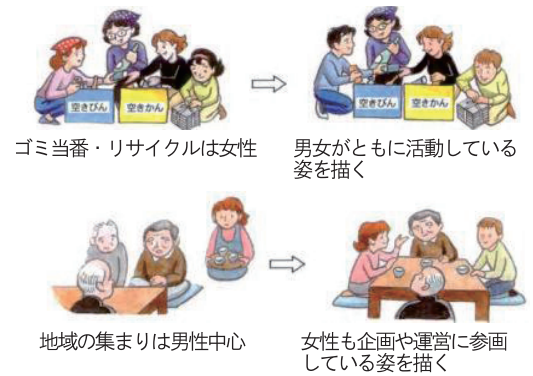


地域

町内会活動やボランティア活動などでは、さまざまな人が協力しあっています。しかし、代表者や対外的な役割は男性で、補佐的、内的な役が女性ということがよくあるようです。

地域の課題を解決し住みよいまちにするためには、男女が対等な立場で意見を出し合い、地域に反映していくことが大切です。

性別にとらわれず男女がともに活動している場面を表現しましょう。



男女を対等な関係で表現していますか

男女に優劣や上下関係があるような表現

女性と男性に上下関係や能力の優劣はありません。しかし、いつも男性を中心的な立場で表現したり、ことさらに女性であることを強調した言葉などを使ったりしていませんか。どちらか一方を強調するような偏った表現は受け手に間違ったイメージを植え付けてしまいます。

男女が、社会のあらゆる分野で参画し、対等な関係にあることが感じられる表現を心がけましょう。

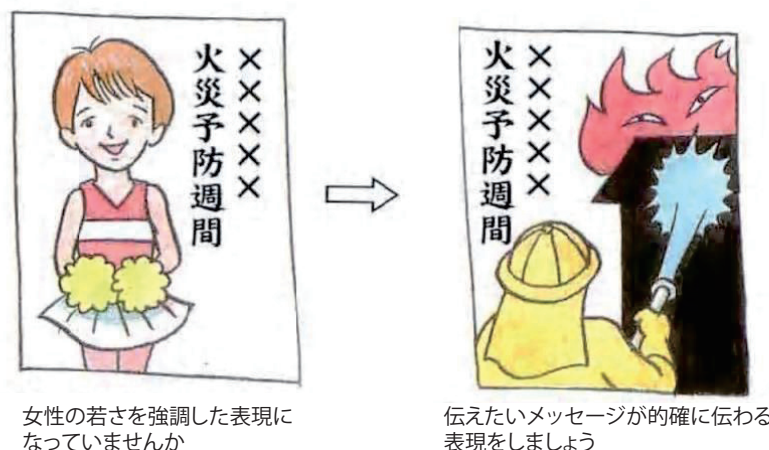


人目を引くための表現

あなたのまわりのポスターやチラシ、テレビCMなどで、女性の若さや美しさ、体の一部分を強調したものなどは見たことはありませんか。

伝えたい内容とは関係なく、単に目を引くため、親しみを持たせるために女性を登場させたり、女性の体の一部を強調したりする場合、伝えたい内容が十分反映された内容といえず、女性を軽視した表現と受け取られることがあります。

「伝えたいものは何か」をよく考え、内容に沿った表現をしましょう。



こんな言葉を使っていませんか

普段何気なく使っている言葉や表現にも、男性中心型社会や男尊女卑的感觉が反映されたものがあります。ことさらに性別を強調する言葉や対語のない言葉は使わないで、公平な表現を心がけましょう。

見直したい表現例	望ましい表現例	見直しの理由
主人・奥様・女房・家内 内助の功	夫・妻・配偶者 パートナー	主従関係や妻が家を守るという考えが表れています。
嫁・婿 舅（しゅうと） 姑（しゅうとめ）	息子の妻、娘の夫 夫（妻）の父 夫（妻）の母	戦前の家族制度に基づいた言葉です。
嫁にやる（もらう） 娘をかたづける 入籍する（婚姻の時に使う場合）	結婚する 婚姻届を提出する	
父兄	保護者	男性中心の言葉です。
OL（Office Lady） キャリアウーマン サラリーマン	会社員 職員 スタッフ	職業名ではないので男女で区別する必要はありません。
美人○○	使用しない	容姿の良し悪しの強調は人格を尊重した表現ではないので好ましくありません。
（職場で） うちの女の子が	個人名で○○が うちの職員が	女性を低くみる表現です。
子育て中のお母さんのため～	子育てをしている人のため～	性別役割分業意識に基づいた表現です。
帰国子女 師弟	帰国児童、帰国生徒、 帰国学生 先生と生徒	性別を含んだり意味したりする言葉です。 どちらの性別でも対応できる配慮が必要となります。
保母 看護婦 保健婦	保育士 看護師 保健師	1999年に法制定されました。 2001年に法制定されました。 2001年に法制定されました。

編集・発行 倉敷市人権政策部男女共同参画課
〒710-8565 倉敷市西中新田 640 番地
TEL (086) 426-3105
FAX (086) 426-0990

URL <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/danjyo/>
E-Mail gndeql@city.kurashiki.okayama.jp